

3両・4両編成ワンマン化と 車掌職場存亡の危機

職場確保を強く求める 専門協議会

10月訂補での車掌の要員減とワンマン列車拡大の提案を受け、7月26日に申入書を提出し、9月2日に専門協議会を行った。

長崎乗務センター車掌の職場存続が不安視される中で将来展望を明らかにするよう要求した。会社の回答は「現時点で明らかにできるものではない」であったが、通勤通学列車・新幹線暫定開業期間中の新幹線・みどり号の乗務による職場確保を強く求めた。

3・4両編成のワンマン化については、各駅でのドアの取扱い、車両性能と駅設備の問題点、運賃ほ脱の対策等々に対して組合と会社の考え方について大きな乖離があり、合理化のためなら安全軽視・収入度外視といった会社の考えが改めて浮き彫りになった。

他、職場環境等の改善に対しても回答を受けたので、後日組合員集会で報告を行う。全体的に納得いく回答は得られなかったが、要求実現に向けて粘り強く交渉していく。(U)

厳しい職場の現状を報告

第37回定期九州本部大会



【厳しい職場の現状を報告する上之濱代議員】



【岩元中央本部書記長】

第37回定期九州本部大会が8月31日、鳥栖市『サンメッセ鳥栖』で開催された。

長崎地区本部からは、神近・上之濱代議員が、討論では上之濱代議員が厳しい職場の現状報告を発言した。大会では、全体で7人から職場報告の発言があった。岩元書記長の集約を受けて満場一致で運動方針を採択した。

役員選出では、岩元書記長が、本部書記長に就任したことで、(新)西山泰三書記長を選出、執行委員には萩原弘司(博多)福崎彰(北九州)の計2人を選出して補強された。他に豊田、御所、島田が参加。(T)